



NATO軍で活躍するイタリアのジェット戦闘機

# フィアット G.91R-1

## 解説

1953年、NATO(北大西洋条約機構)軍司令部は、NATO軍統一機種の軽戦闘/対地支援用攻撃機計画を出した。この計画には7社が競争試作に加わったが、その勝利をつかんだのがこのG91である。

運用重量は約3,600kgという軽量・小型の機体ではあるが、生産・整備性は非常に良い機体であり、その飛行性も優れたものとなっている。

F-86にどこか似ているその外型だが、主翼は後退角37°を持ち、比較的小さくてうすく、内部には燃料タンクはなく、燃料は胴体内のタンクと、主翼下面の増槽に搭載される。

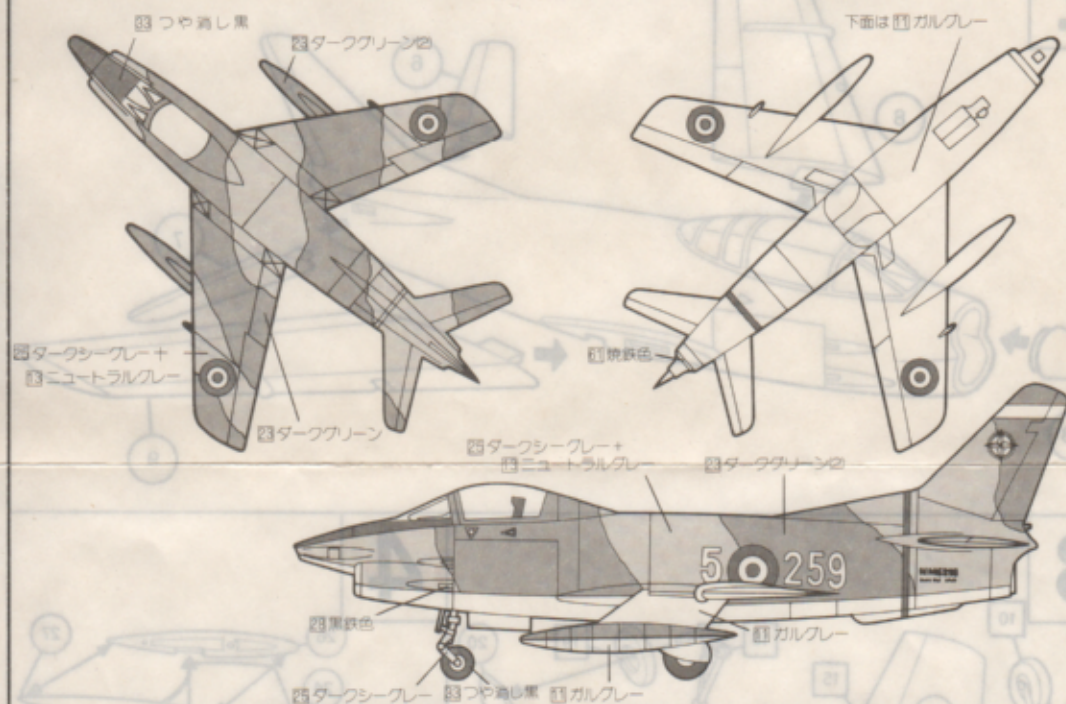
G91には、12.7mm機銃4門を装備したイタリア空軍向けのR/1、1A、1B型、30mm機関砲2門を装備

した西ドイツ向けのR/3、12.7mm4門の西ドイツ向けR/4、イタリア向けの複座練習型T/1、そして西ドイツの複座練習型T/3などのバリエーションがあり、G91を使用しているイタリア空軍のアクロバットチーム“フレッチェ・トリコロリー”は有名である。

キットのG91R/1はイタリア空軍向けの型で、全長約10.30m、全幅約8.56m、全高約4m。最大速度は930km/hで、エンジンはBSオルフェース 80302(推力2,268kg)を1基装備している。武装は30mmDEF A機関砲2門を装備している。

G91の原型初飛行は1956年8月9日で、R/1型は98機が生産されている。

## フィアット G.91R-1の塗装とマーキング



この図と箱絵を参照して組み立てる前に各部を塗装して下さい。

### 組立図の記号

- 接着する部分です。
- 透明部品(クリアー)です。
- この部品は選んで組み立てて下さい。

### このキットに必要なMr.カラー

- |             |            |
|-------------|------------|
| ⑪ガルグレー      | ②⑤ダークシーグレー |
| ⑫オリブドラブ(1)  | ③③つや消し黒    |
| ⑬ニュートラルグレー  | ④④黒鉄色      |
| ⑭ダークグリーン(2) | ⑥⑥焼鉄色      |

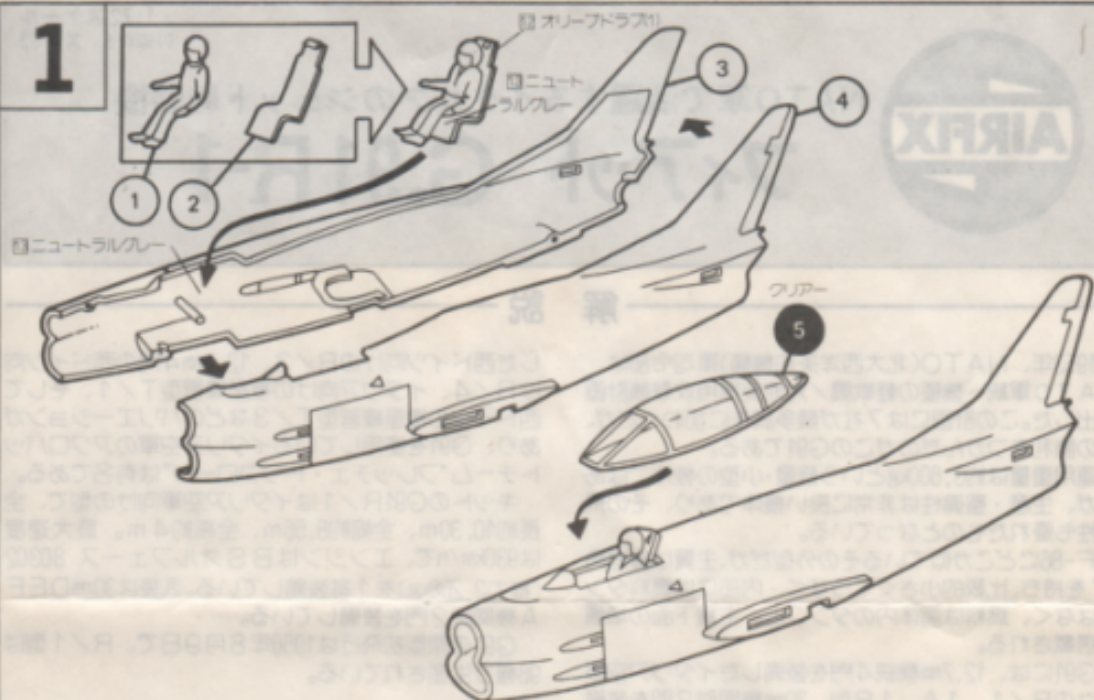
組立作業には……●Mr.セメント●Mr.セメントS●強力瞬間接着剤Mr.ジャスト●Mr.リターダー●Mr.トップコート●Mr.1/15●Mr.ラビングコンパウンド●マスキングノル●ニッパー●ナイフ●ピンセット●セロハンテープなどを準備しておくとう便利です。

お願い

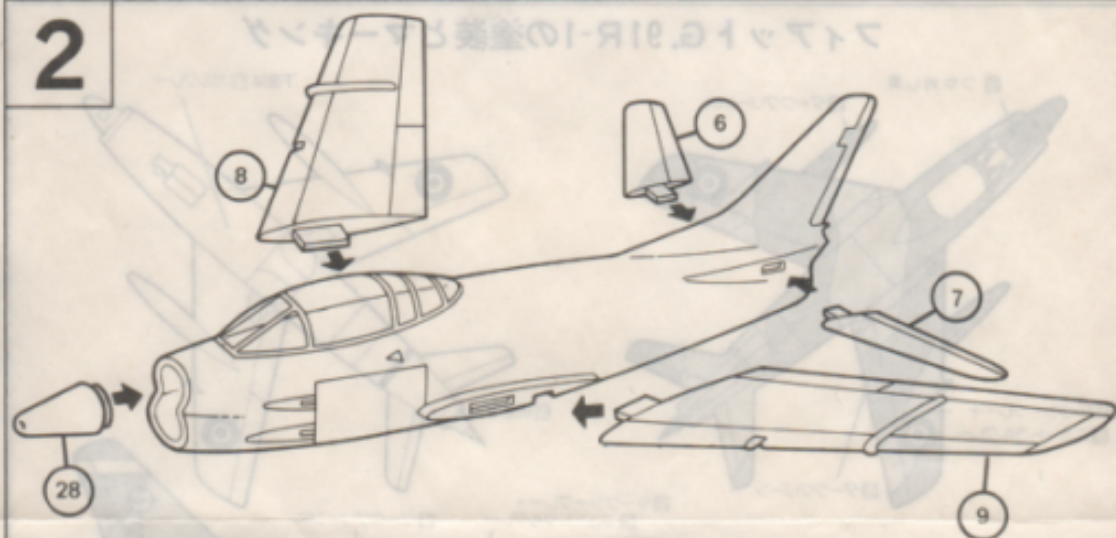
このキットのポリ袋は幼児が不用意にかぶったりしないよう始末して下さい。



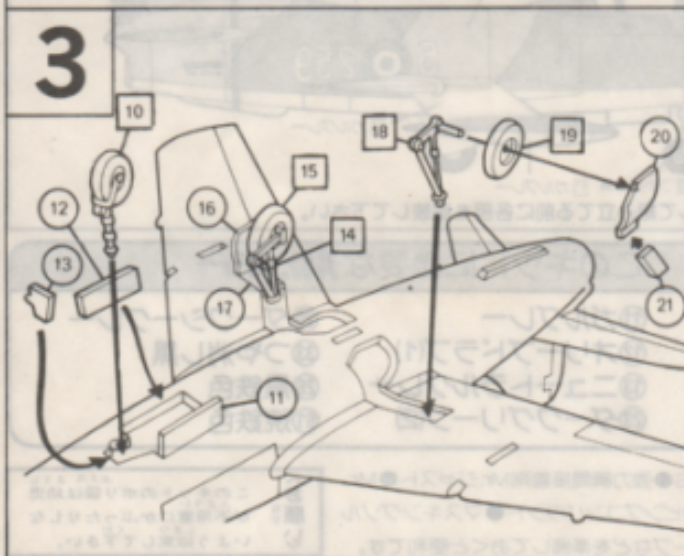
# 1



# 2



# 3



# 4

